



エコ・ファーストの約束

ー環境先進企業としての地球環境保全の取り組みー

2025年10月21日

環境大臣 石原 宏高 殿

大東建託株式会社
代表取締役社長

町内 啓

私たち大東建託グループは、土地の有効活用の提案を起点に、人々の暮らしを支え、地域の活性化に貢献する企業として、環境経営を推進しています。

脱炭素

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、建物のライフサイクルにおける温室効果ガス排出量の削減、事業活動における省エネルギー化および再生可能エネルギーの活用を推進します。

[SCOPE1,2] 2030年までに55%削減（2017年度比）：SBT1.5度水準で認定取得済み

- ・ 省施工・工期短縮など環境負荷の低減につながる工法の開発・導入を進めることで、施工時の脱炭素化を目指します。
- ・ 排出量の少ない高効率自動車への切り替えやオフィス設備類の省エネ化、本社ビル等のZEB化を推進することで、エネルギー効率の向上に取り組みます。
- ・ 国内の事業活動で消費する電力は、自社の国産木質バイオマス発電や賃貸住宅の屋根上設置太陽光発電による再生可能エネルギーで100%供給します。

[SCOPE3] 2030年までに55%削減（2017年度比）：SBT1.5度水準で認定取得済み

- ・ 建物のライフサイクル全体で温室効果ガス排出量の見える化に取り組みます。
- ・ 低炭素資材の採用やサプライヤーエンゲージメントを通して、サプライチェーン全体で脱炭素化を進めていきます。
- ・ 環境負荷の低減につながる木質建材CLTを活用した脱炭素型の賃貸集合住宅等の開発・販売促進に取り組みます。
- ・ 創エネと省エネによって暮らしのエネルギーを削減するZEH・ZEB、LCCM等、低炭素型集合住宅・建築物の開発と販売促進に取り組みます。

資源循環

資源循環型社会への移行に向け、住宅・建築物の長寿命化と再資源化を推進するとともに、廃棄物の最終処分ゼロを目指します。

- ・ 施工現場や資材加工時における産業廃棄物排出量の少ない工法・技術の開発・導入を進めます。
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等率100%を目指します。
- ・ 現場資材の梱包の簡素化や代替品利用によりプラスチックの使用量を削減するとともに、使用済みプラスチックのリサイクルを促進します。
- ・ 事業所において使用する事務用品等の物品について3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進します。

生物多様性

自然共生社会の形成に向け、事業における木材の循環利用促進による森林機能向上と、自然環境の保全・創出や生物多様性の向上に取り組みます。

- ・ 木材の調達における森林破壊ゼロを目指し、サプライチェーンの透明化を行います。
- ・ 賃貸住宅等の建設時、地域の生物多様性に配慮し、在来樹種の積極的な採用、雨水浸透と排水量の影響に配慮した設計、土砂運搬距離の最小化を意識した施工管理に取り組みます。
- ・ まちづくりにつながる不動産開発では、外部機関と連携した生態系調査および誘致種・保全種の設定をし、外構計画を策定します。完成後は設定した誘致種・保全種の状況を確認するモニタリングを実施します。
- ・ 自然共生サイトにおける生物多様性の保全および回復に貢献する支援・活動を実施します。

環境経営

グループ会社一丸となって、社員や拠点主体の環境経営体制の強化に取り組みます。

- ・ ISO14001やエコアクション21などを参考とした当社グループの事業活動に適合した独自の環境マネジメントシステム（EMS）に基づき、環境経営を実践します。
- ・ グループ会社を含む専門委員会にて、グループ各社の現状を把握し、課題解決に向けた継続的な改善プロセスを推進します。
- ・ 社員とその家族の環境意識向上に向けて、環境教育や保全活動イベント等を継続して実施します。

大東建託グループは、上記取り組みの進捗状況を定期的に確認し、環境大臣に報告するとともに、ホームページ、統合報告書等で公表します。

※デコ活宣言（環境省が呼びかける脱炭素推進運動に基づく宣言）を実施し、デコ活応援団にも参画しております。